

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ(A.共通問題)

正 解

A 共通問題

回答欄 (○×式)

1. 魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、アングラーは他からの助けを借りることなく魚をフックにかけ、ファイトし、取り込まなければならない。



★正解は○となります。「海と淡水のフィッシング・ルール」→「釣りの規定」第1項に上記内容が明記されています。今回はルールの大原則に触れていますが、一部例外も規定で認められています。

2. 岸釣りまたはウェーディングの釣りをしているアングラーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットで掬う、あるいはギャフを掛ける際、アングラーからロッド2本分以内の距離にいないなければならない。



★正解は×となります。「海と淡水のフィッシング・ルール」→「釣りの規定」第6項にロッド1本ぶん以内の距離にいないなければならないと明記されています。

3. 足場の高い栈橋から、記録申請したい魚を釣り上げたい。
その場合は取り込みに使用するネットの全長が2.5mでも使用できる。



★正解は○となりますが、ルールブックの表記が曖昧だったためどちらでも正解とさせて頂きました。申し訳ございません。改めてIGFAに確認したところ

「海と淡水のフィッシング・ルール」→「釣具の規定」→

「H. その他の用具」第3項にギャフおよびネットは、全長が2.4m以内と定義されていますが、

「橋、栈橋、その他の高い台や構造物から釣る時は、この長さ制限は適用されない」と確認いたしました。

4. ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた場合でもこれ以外はIGFAルールで魚をキャッチできれば記録申請できる。



★正解は×となります。「海と淡水のフィッシング・ルール」→「失格となる状況」第1項に、ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた時と明記されています。

5. リーダーの長さとはルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さとして定義されるため、テンビンの長さも含まれる。



★正解は○となります。「海と淡水のフィッシング・ルール」→「釣具の規定」→「C. リーダー」に上記内容が明記されており、「F. ベイトフィッシング(エサ釣り)に使用するフック」第4項の図にもテンビンの長さはリーダーに含まれると表記されています。

JGFA 審査員養成/更新

IGFA ルールクイズ(B.ビッグゲームトローリング)

正解

問 題

回答欄 (○×式)

6. 37Kg テストのダブルラインをいちいち編み直すのは面倒なので、予め別のライン(同じ強度)で4mのダブルラインを作っておき、スイベルで交換が容易にできるようにした。

×

★正解は×となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣具の規定」B.ダブルラインの第1項に「ダブルラインは、フィッシングラインそのものをダブルにしたものでなければならない」と規定されています。

7. キャスティングロッドをトローリングロッドに改造するためロッドティップを150cm、バットを50cmの長さに切断して作った。

○

★正解は○となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣具の規定」D.ロッドの第2項に「ロッドティップの長さは101.6cm以上、ロッドバットの長さは68.58cm以内であること」と規定されています。

8. 魚とのファイト中にハンドルを巻く腕が疲れたのもう一方の手でラインを手繰ってリールにラインを巻き取った。

×

★正解は×となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「失格となる行為」第4項に「ラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている」と規定されています。

9. カジキの取り込みに際し魚体を傷つけないために、ギャフの代わりに1.9mの棒に50cm長の荷造り用ポリエステル平テープを裂いた束を装着してビルに絡めてキャッチした。

×

トータル長さが240cmでギャフの長さ規定内なので問題無い。

★正解は×となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣り具の規定」H. その他の用具第4項にて「エンタングリング(魚を絡め取る)用具は、フックの有無にかかわらず禁じられている。

ベイトイングまたはフッキング、ファイティング、ランディングを含むいかなる目的の為に使用していけないと規定されています。

10. 魚がルアーにストライクしてラインを引き出している状態で、

クルーがロッドをロッドホルダーから引き抜いてアングラーに手渡した。

×

アングラーはその後自らドラッグを上げてフックアップしてファイトに入ったからルールに則っている。

★正解は×となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣りの規定」第2項にて「ロッドホルダーで固定している時に、魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、釣り人はできるだけ速やかにロッドをホルダーから外さなければならない」と規定されています。

JGFA 審査員養成/更新

IGFA ルールクイズ(C. ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り)

正解

問 題

回答欄 (○×式)

6. ジグヘッドリグのハリ先のないワーム取り付け部分に、ワーム(ソフトベイト)をセットした場合、魚が掛かったときに自由に振れ動くなら、ギャングフックはルアーに差し込んだり、本体に固定したりすることができる。

○

★正解は○となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣具の規定」→「G. フックおよびルアー」第2項に「魚が掛かったときに自由に触れ動くなら、ギャングフックはルアーに埋め込んだり本体に固定したりすることができる。」と明記されています。

7. 6kg(12lb)ラインを使用し、ある河川でヤマメを釣って記録申請した。
その時使用したリーダーは、フックの全長を含めて4.57mであった。

×

★正解は×となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣具の規定」→「C. リーダー」→「淡水魚」に淡水魚のリーダーはすべてのラインクラスにおいて1.82m以内と明記されています。

8. ラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されているが、ボートから釣る場合は、リーダーが同乗者の手に掴めるところにくるか、リーダーの端がロッドティップまで巻き上げられた時、一人または複数の人がリーダーを持つことができる。

○

★正解は○となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣りの規定」第6項に明記されています。またラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている、については「失格となる行為」第4項に記載がございます。

9. アシストフックとは、モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤーなどの「リード」を介してルアーに接続されるフックのことであるが、
ギャングフックもリードを介してアシストフックとして使用すればルール上OKである

×

★正解は×となります。「フック配列の実例(アシストフックに関するガイド)」の説明文や写真に、アシストフックとして、ダブルフックやトレブルフックを使うことはできないと明記されています。
使用できるのはシングルフックのみとなります。

10. ルアーフィッシングで記録申請する場合、必ずしもルアーを送付する必要はないが、ルアーが写った写真もしくはスケッチを添付しなければならない。

○

★正解は○となります。「海と淡水のフィッシングルール」→「釣具の規定」→「G. フック及びルアー」の第2項に、記録申請時にはルアーの写真もしくはスケッチを添付することと明記されています。

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ(D. フライフィッシング)

正 解

問 題

回答欄 (○×式)

6. フライフィッシングの記録申請のためには、ギヤのつたいいわゆる「マルチプライヤーリール」を使うことができない。

×

★正解は×となります。フライフィッシング・ルール→釣具の規定→D. リールに、「……ギヤ比およびドラッグ機構について制限はないが、釣り人が不当な利益を受けると考えるものは使用できない」とあり、マルチプライヤーリールを使うことができます。

7. クラスティペットの長さ規定に、上限はない。

○

★正解は○となります。フライフィッシング・ルール→釣具の規定→B. リーダーに「クラスティペットの長さは38.10cm以上とする（両端に設けたノットの内側を測定）……クラスティペットに長さの上限はない」とあります。

8. ボートからの釣りで、ティーザーを曳き魚を寄せて来る場合、エンジンのギヤをニュートラルに入れてキャストしておきさえすれば、その後でギヤを入れてフライを動かしても良い。

×

★正解は×となります。フライフィッシング・ルール→釣りの規定のなかに「魚にフライをキャストするとき、およびトリープの間は、ボートのギヤを完全に外し、ニュートラルか停止の位置にしておかなければならない」とありますので、これは明確にIGFAルール違反となります。

9. フライロッドは、市販品であれば5フィート台のものも使うことができる。

×

★正解は×となります。フライフィッシング・ルール→釣具の規定→C.ロッドの項に、「ロッドの全長は1.82m（6フィート）以上とする」とありますので、5フィート台のロッドは使えません。

10. 浅場のウエーディング釣りで、足下まで寄せてきた魚を、フィッシングガイドがボートで背後の浅場に追い込んでランディングした。このようにして釣りあげた魚の記録申請はできない。

○

★正解は○となります。フライフィッシング・ルール→失格となる行為・状況の項に「8. 魚が正常に泳ぐ能力を奪うために、ボートや道具を使用して魚を浜に追い上げたり、浅瀬に追い込んだりしてはならない」とありますので、これは許されていません。